

【研究課題名】 942 研修医による挿管と麻酔科医による挿管における術後咽頭痛、嘔声発生頻度の比較

【実施責任者】 集中治療部 准教授 井上 聡己

【実施分担者】 中央手術部 学内講師 田中 優  
麻酔科学教室 教授 川口 昌彦

【研究の意義】

全身麻酔後の咽頭痛、嘔声は入院時におけるQOL低下の一因である。教育病院として研修医の医療行為への参加が医療の質に係っているのか調査し評価することは重要である。

【研究の目的】

麻酔科術後外来での咽頭痛、嘔声の発生状況を調査し研修医挿管と麻酔科医挿管により差があるのか調査すること

【研究の方法】

麻酔科外来では咽頭痛、嘔声の有無や持続期間などを問診しておりこの結果をファイルメーカーに入力し Excel に統合し管理している。また、当科では麻酔台帳に各症例を登録しており、患者背景、術式、診断、麻酔手術時間、合併症、体位、挿管困難の程度、挿管施行者などの記録を残しており、これもファイルメーカーに入力し Excel に統合して管理している。この2つのデータベースを患者 ID により統合し合わせて利用する。これらの麻酔科管理症例から挿管されて麻酔管理された症例を抽出し、抽出されたデータから研修医挿管に至るプロペンシティスコア(PS)を算出し、研修医挿管と麻酔科医挿管を PS で1:1にマッチングさせて咽頭痛、嘔声頻度、残存時間を比較する。マッチングされる症例は各群およそ 3000 症例である。

【研究機関名】 奈良県立医科大学 麻酔科学教室

【個人情報の扱い】

個人情報に関しては連結可能匿名化するため保護される。

【本研究に関する問い合わせ先】

研究責任者：麻酔科学教室 井上 聡己

〒634-8522

奈良県橿原市四条町 842

TEL 0744-22-3051